

なぜタイムアウトを行うのか？

飛行機のパイロットも使う「チェックリスト」で あってはならない間違いをゼロに



正しい患者
(Correct Patient)



正しい術式・手技
(Correct Procedure)



正しい部位
(Correct Site)

タイムアウトは、患者安全を守るための「最後の砦」です。

(出典: 手術と処置前のタイムアウト手順書 1. 目的)

タイムアウトは、いつ、どこで、誰が行うのか？

実施タイミング



手術室

患者のドレーピングが終了し、**執刀直前**に行う。



手術室以外

処置や検査の**開始直前**に行う。
(例：鎮静剤や局所麻酔薬の投与直前など)

対象となる場所

侵襲的な手技・処置を行う

全部署が対象です。

(例：血管造影室、カテ室、内視鏡室、
ER、病棟、透析室など)

タイムアウトは、職種を問わずチーム全員の責任です。

実施後は、手順書の項目に沿って電子カルテに必ず記録してください。

(出典: 手術と処置前のタイムアウト手順書 2.1, 3.3, 3.4)

安全を担保する3つのステップ



手術・処置の重要局面で3回立ち止まる。これが、世界で統一された標準安全プロセスです。

(出典: 手術と処置前のタイムアウト手順書 2.2, 3.1)

執刀直前、その手術に関わるチーム全員が手を止めて実施する

タイムアウト 確認項目（手術室における最低7項目）



1. チームメンバーの自己紹介

- ・ 執刀医、麻酔科医、看護師などが自身の役割と使命を述べる。



2. 患者氏名の確認



3. 疾患名、予定術式、マーキングの確認

- ・ 最終的な術式と部位（左右・レベル）を声に出して確認。



4. 抗菌薬の投与確認

- ・ 予防的抗菌薬が適切に投与されたかを確認。



5. 予測される重大なイベントの共有

- ・ 外科医：手技の重要点、予想手術時間、予想出血量
- ・ 麻酔科医：患者特有のリスク（アレルギー、循環、呼吸器系の問題など）
- ・ 看護師：滅菌の確認、器材の問題の有無、患者特有のトピック（信仰など）



6. 必要な画像の提示

- ・ 手術に必要な画像が、適切に表示されているかを確認。



7. インプラントの準備

- ・ 使用するインプラントが準備され、左右やサイズが正しいかを確認。

（出典：手術と処置前のタイムアウト手順書 3.1）